

NarKingi News

NARA AMT

No. 315

SEP.2020

一般社団法人 奈良県臨床検査技師会

〔事務局〕 〒632-8552 天理市三島町 200

〔発行責任者〕 勝山 政彦 〔編集責任者〕 小林 昌弘

天理よろづ相談所病院 臨床検査部 (TEL) 0743-63-5611 (7439)

奈臨技オンライン研修会が始まります！ぜひご参加を！

奈臨技オンライン研修会ワーキンググループ (WG)

IT委員会 大林 準

奈臨技会員のみなさま、残暑お見舞い申し上げます。今年の春から夏は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、公私を問わず、あらゆることが延期や中止となりました。

奈臨技学会や学術部門・分野の研修会も例外ではなく、ことごとく中止を余儀なくされました。感染の拡大が収束する見込みが見えず、ワクチンや治療薬も充分でない現状では、皆が顔を合わせての研修会がいつ再開されるか予想がつかない状態になっています。そのような中、6月から奈臨技新体制のもと、森嶋学術部長を中心に奈臨技オンライン研修会ワーキンググループが結成されました。ワーキンググループでは、Web 会議を何回も重ね、ようやくオンライン研修会が提供できる状況となりました。

提供方式は、Zoom ミーティングのような、双方向型ではなく、皆さまが、他の参加者を気にすることなく参加できる、セミナー形式を選びました。Web でのセミナーを表す新語として、ウェビナーという言葉が生まれていますが、そのウェビナー形式で研修会を開催することになります。

各自のメールアドレスとパスワードを使用して会員ページにログインする方式で、これにより、セキュリティの向上も図ります。会員エリア内の個人ページ (マイページ) では、過去に開催されたウェビナーが、ライブラリとして表示され、クリックするといつでも無料で視聴することができます。ライブラリが充実してくると、かなり楽しいマイページになるのではないかといまから期待にわくわくしています。

研修会は奈臨技ニュース7月号に掲載しました、「2020年7月以降の研修会、勉強会等の取り扱い」(7月号参照)に沿って行います。参加方法は、研修会毎に案内します研修会申込ページにて、必要事項の入力を済ますと、(ウェビナーから)招待メールが届きます。開催時間になれば、招待メールに記載されているアドレスをクリックすることで、ホームページ閲覧ソフト (Google クロームやインターネットエクスプローラー等) が起動し、簡単にウェビナー (研修会) に参加できます。マイページからも申込できます。もちろん、パソコンでもスマートフォンでも参加できます。

9月以降、随時、各分野の研修会の案内をさせていただきますが、まずは、「微生物・遺伝子検査部門 緊急合同講習会 新型コロナウイルス」から開始いたします (案内は奈臨技ニュース今月号掲載)。みなさま、ぜひご参加ください。お待ちしております。

奈臨技発刊物に関する会員調査の結果報告

事務局 嶋田昌司

2020 年度定時総会の一般質疑事項に、「奈臨技発刊物についてはメール発信やホームページでの公開で良いのではないか」という質疑がありました。会員の皆様には 6 月 17 日付にてアンケートにご協力頂きました。その結果をご報告致します。

また、その結果を受けて理事会にて審議したところ、「回答数が全会員の 20%であり会員の声を反映した結果とはいえない。よって、継続し検討が必要」ということになりました。今後、調査を進めたうえで検討を重ねて参りたいと存じます。なお、再度アンケートを公開し皆様へご協力をお願いをすることも検討しております。その際には、ご協力よろしくお願い致します。

アンケート時の会員数：606 名（内、施設会員 542 名 自宅会員 64 名）

回答者数：122 名 20.1%（内、施設会員 110 名 自宅会員 12 名）

結果集計

	全体		施設会員		自宅会員	
	人数	%	人数	%	人数	%
1. あなたは施設所属会員ですか自宅会員ですか？	122		110		12	
2. 年齢を教えてください。						
20歳代	21	17.2	20	18.2	1	8.3
30歳代	19	15.6	18	16.4	1	8.3
40歳代	30	24.6	29	26.4	1	8.3
50歳代	40	32.8	37	33.6	3	25.0
60歳代	11	9.0	6	5.5	5	41.7
70歳代	1	0.8	0	0.0	1	8.3
3. 性別を教えてください						
男性	53	43.4	48	43.6	5	41.7
女性	69	56.6	62	56.4	7	58.3
4. 月刊誌 奈臨技ニュース の利用状況を教えてください						
毎号欠かさず見る	70	57.4	63	57.3	7	58.3
時々みる	43	35.2	38	34.5	5	41.7
みない(HPで確認する場合も含む)	9	7.4	9	8.2	0	0.0
5. 月刊誌 奈臨技ニュース の発行形態につき希望を教えてください						
現状の書面発行がよい	18	14.8	17	15.5	1	8.3
HPへの掲載とメール添付で送られればそれで良い	99	81.1	88	80.0	11	91.7
不要	5	4.1	5	4.5	0	0.0
6. 年刊誌 まほろば の利用状況を教えてください						
毎号欠かさず見る	48	39.3	44	40.0	4	33.3
時々みる	55	45.1	48	43.6	7	58.3
みない(HPで確認する場合も含む)	19	15.6	18	16.4	1	8.3
7. 年刊誌 まほろば の発行形態につき希望を教えてください						
現状の書面発行がよい	35	28.7	31	28.2	4	33.3
HPへの掲載とメール添付で送られればそれで良い	71	58.2	63	57.3	8	66.7
不要	15	12.3	15	13.6	0	0.0

その他ご意見（原文のまま）

- ①大臨技が発行しているカレンダーのような物が施設に1・2部あればいい
- ②各自、必要なら、自分で印刷でいいと思います。
- ③奈臨技ニュースに関しては、直近の勉強会情報が決まった日に配布されるため、忘れず見ることができるので、紙面が良いと思います。
- ④いつも会務ありがとうございます。奈臨技ニュースとまほろばがあってこそ、奈臨技会員であることの認識ができています。ホームページだけだと、見なくなってしまうような気がいたします。予算の占める割合と技師会への貢献度では、かなりコストパフォーマンスに優れたものであるのではないのでしょうか。奈臨技ニュース、まほろばともに紙による継続発行（もちろんホームページも同時掲載）を希望いたします。
- ⑤まほろばは、頻度は少ないですが他施設の会員を調べたりする時に、書面のほうが見やすいので、書面発行を希望します。
- ⑥施設会員には人数分施設へ送られているが、人数分は必要ではなく数冊で十分だと思います 地区担当としては、各施設の責任者及び連絡先が見やすいので、無かった年は困りました。電話番号や FAX 番号間違いが有りました。
- ⑦地区担当用に資料があれば、新人紹介や学術賞論文等は HP への掲載で良いと思います。
- ⑧年刊誌 まほろば は年に何回か見返したりするので、書面のほうが良いです。
- ⑨ネット環境にしていない 年刊誌 まほろば は、HP 掲載+メール添付も希望します
- ⑩まほろばがホームページに掲載されている事を最近知りました。所属施設とフルネームが記載されている部分も載っていたことに驚きました。部分的に削除出来るなら所属が分かる部分と個人名はホームページから消していただきたいです。まほろばの発行は書面を希望しますが個人に配布ではなく所属施設に数部でいいと思います。自宅会員さんには希望者だけとか…。月刊誌については、他の情報がメールなどで送られることが多く奈臨技からの情報を見落としてしまう可能性があるので確実な書面でいただけると有り難いです。または、大きめの紙で施設に数部発行でも構いません。

→事務局より：HP で公開していましたが「まほろば」から名簿は削除しました。

- ⑪ペーパーレスの時代です。振り分け作業に時間がかかる割に見ている人が少なく廃棄されることが多いように思います。書面の郵送を希望される方のみ書面でいいと私は考えます。よろしくお願いします。
- ⑫ご苦労さまです。時代柄、ペーパーレスを支持します。
- ⑬技師会名簿を各施設にいただけるのであれば HP の掲載でいいと思います。
- ⑭年刊誌まほろばは HP 掲載でも良いと思うが、もし書面発行するなら各施設一冊で良いのではないかと思う。
- ⑮勉強会の案内など、HP 上のみでは広く案内することが難しく感じます（HP をわざわざ開かない人が多い）。書面発行をなくす場合、そちらの工夫が必要と感じます。
- ⑯必要なら各自で、印刷するでいいと思います。
- ⑰HP に会員の検索ツールで、各施設の連絡先等が見れる様な工夫をして頂ければ、書面は必要無いかと思えます。施設責任者、電話番号、FAX 番号のみ表示。
- ⑱現状維持ではなく現在のテクノロジーを活用して運営してほしい。
- ⑲奈臨技ニュースも HP 掲載のみでメールは不要でいいのではないのでしょうか。
- ⑳電子化で浮いたお金で何をするかを明示すべき。また、まほろばは会員全員に配る必要はないと思います。施設の技師人数にて数を決めることをご検討お願いします。

< 生涯教育研修会のお知らせ >

「<微生物・遺伝子検査部門緊急合同講習会> 新型コロナウイルス」〔専門-20〕

講師：笠原 敬 先生（奈良県立医科大学附属病院 感染症センター）

阿部 教行 会員（天理よろづ相談所病院 臨床検査部）

高谷 恒範 会員（奈良県立医科大学附属病院 中央手術部）

龍見 重信 会員（奈良県立医科大学附属病院 病院病理部）

李 相太 会員（奈良県立医科大学附属病院 中央臨床検査部）

日時：2020年9月18日（金）17時45分～19時30分

会場：Web開催

担当：遺伝子、染色体（生涯教育研修：専門-20）

会費：無料（非会員：3000円）

【要旨】 COVID-19の世界的流行は、臨床検査業務におけるSARS-CoV-2の遺伝子検査への対応や検体採取等による診療補助、追加の感染対策を求められました。また、私たちが臨床検査技師として、さらには医療人として、この大流行の中で何ができるのかを考えさせられました。ただ当初はCOVID-19に関する知識や情報が少なく、検査側から施設に対して速やかで適切な提案等が出来ないこともしばしばであったと思われます。しかし現在は、コロナ禍における私たちの試行錯誤を振り返ることができます。このため私たちは次のためにCOVID-19への知見を深め、コロナ禍の始まりにおける臨床検査技師の取り組みを概括しなければなりません。今回の講習会では①COVID-19の概要、②感染対策（採血業務と検体検査・生理機能検査・病理学的検査）、③各施設に配布したCOVID-19アンケートの結果報告を行います。COVID-19に関する基本的な情報から、検体の取り扱いや患者への対応を含めた感染対策、アンケートによる奈良県下の検査室の現状まで、検査業務に関わる情報を提供し、COVID-19の再流行や同様のパンデミックへの教訓にすることを目的としております。

*この研修会は日臨技推進事業です。

※研修会は申込制となっております。下記URLでメールアドレスを入力し仮参加登録をしてください。本登録の案内は入力されたメールアドレスに送信します。

<https://forms.gle/4gim6P6p2zRSVG3g6> (QRコード)



【問い合わせ先】 山口直子（県立医科大学附属病院）

Tel 0744-22-3051 (4210)

e-mail nyama@naramed-u.ac.jp